



広報みまた

老人に健康と生きがいを!!

9月15日は「敬老の日」



多年にわたって社会に寄与していた老人を敬愛し、老人自身も時代とともに生きる意欲を一層高め、すべての人が老後への関心と理解を深めるように、九月十五日「敬老の日」、そして二十一日まで老人福祉週間として運動が展開されます。今日を築きあげた老人に感謝し、いつまでも健康で楽しい老後の生活ができるよう激励しましょう。

それでは、三股町の最高令者、原田イセさんの昨今を聞いてみました。

原田イセさんは明治七年一月十六日生まれ（満百二才）現在、娘飯田セイさん（八十才）と孫の六男（四十才）の家族と一緒に、あたたかい愛情につつまれて、毎日を楽しく過ごしておられます。話しかけると、終始笑顔を忘れず話し方もはっきりしており、目も耳もまだまだ大丈夫、病気ひとつしたことがないという、幸福なおばあさんです。

今でも朝は早く起きて規則正しい生活、また毎日の日課で一番たのしいのは農業で、野菜畑などの手入れや牛の世話をしたりするのが楽しみ、表紙も八月二十七日に撮影したものです。近頃の市場に出すイモのヒゲネむしりに精出している元気なイセさんです。

51 / 9月号

畜産振興の

基盤づくりに一躍

●優良家畜の町貸付けを実施
和牛…都城家畜市場から六月まで十三頭導入
乳牛…北海道から十頭導入
豚…静岡県から八頭導入

となるおそれがあります。そこで、本町におけるこれらの問題点を解消するためにも、「広報みまた五月号」で紹介しましたように町が今年度から新しく計画した優良家畜の貸付け制度による家畜の導入を実施し、先般、借受者に貸付けいたしました。

●飼料作物の生産調整機械等の導入実施
本町の畜産については農業の中で、基幹作目として、いろいろな振興策を構じておりますが、本町の畜産生産部門について眺めてみますと、各家畜とも生産物(子牛、子豚、乳牛)等は年々増加し、他の町と比較して、少しも遅れはとっておりませんが質の面でやや改良すべき点のあることが指摘されるようです。あることにおいては子牛価格でみた場合、郡平均よりやや劣っておる現況であります。乳牛においては上位であります。目標とする年間乳量五千五百kgには、まだ程遠い感じがいたします。又、豚においても雑種が大半を占め、しかも無計画な雑種生産が行われ易く能力低下の原因



北海道導入ホルスタイン



農機具の取扱い説明を聞く畜産経営グループ

の貸付けの時期を同じくして飼料作物の栽培、収穫、調整又は利用のための機械の導入及びサイロの設置をいた

しておりますが、これは畜産グループによる一貫作業体系のもので粗飼料の増産確保を図るものですが、同時に組織の強化もねらいにいたしております。いずれにしても、本町畜産の現状から、町がとりくむ抜本的な施策であり、大いに期待をかけているところであります。畜産農家の皆さんとともに積極的にとりくみ、本町畜産の名声と銘柄の確立に努力いたしたいものだと思います。

●町の優良家畜貸付けの状況
▼和牛は三十八頭のうち既に十三頭を都城市場で導入し貸付しておりますが、何れも町畜産品評会優等賞又は市郡畜産共進会一等賞以上のもので、平均価格七十三万円(貸付基準価格六十万円)で体質資質ともに優秀な牛であります。

▼乳牛は北海道から十頭導入し貸付しましたが、いずれも初妊牛で平均して四代高等登録、平均月令二十四カ月で価格は平均八十一万三千円(貸付基準価格六十万円)で系統、質ともに優れております。

▼豚は十頭のうち八頭を静岡県から、二頭を地元から導入し貸付しましたが、いずれもランドレス純粋種高等登録の資格豚で平均価格十四万円(貸付基準価格十二万円)で基礎母豚として希望のもてるものです。

各貸付家畜とも系統的改良は、体型的資質ともに優れており、改良の基礎畜としての素質をそなえて

おります。借受者は「これでこそ本町の畜産振興の基盤ができる!」「と将来を展望しながら旺盛な意欲でとりくんでおられますが、何れにしても、これが畜産農家への刺激となり波及していくことを、大いに期待をいたしております。

●飼料作物の生産調整機械等の導入状況
パキニウムカー四台、ライムウッド五台、ハイメーカーパー、大型カッター二台、大型トッパー一台、サイロ(十屯以上)二十六基を設置いたしました。今後、自給飼料の生産確保の面に一層の威力を発揮するものと思われま

三股町野球連盟 加入チーム募集

三股町に本年七月に野球連盟が結成され、現在早朝リーグも展開されており、野球を通じて会員相互の親睦と心身の健全育成を図ると共に明るい社会づくりに精出しております。

現在加入チームが八チームと少ない加入状況であり、連盟ではチーム拡大のため、部活、職場チームの加入を呼びかけています。この機会に是非野球連盟に加入して下さい。

※連絡先 三股町役場 環境保健課 白浜 丸雄 電話 二一一二番

二十四柱の霊を祭り

しめやかに合同慰霊祭

町立病院は、昭和五十一年の間に当病院に入院され不幸にも亡くなられた方の慰霊祭を去る八月十一日、当病院でしめやかに催した。

亡くなられた方は、町内二十一名、町外三名の計二十四柱その霊が祭られ、ご遺族をはじめ病院に勤務する全職員も参列して慰霊祭が厳しゅうに挙行された。

町長の弔辞に続いて院長の弔辞があり、ご家族の方も誠心誠意不眠不休の手厚い看護に尽された。私どもも必ず全快されることを心から祈り最大の精魂をつくし一日も早く退院される日をお待ちいたしましたと弔辞がべられた。

最後に遺族代表挨拶で、二十四柱の故人もさつと満足し草葉の陰でよるこんでいるでしようと思われながらお礼のことばがありました。この合同慰霊祭は、昨年同様八月十八日、八月廿五日、昭和五十一年度青少年を守る球技大会が開かれました。



慰霊の前で焼香するご遺族

行っており、病院長をはじめ全職員が靈前にぬかずき哀痛をお祈りししめやかなうちに終わりました。

青少年を守る球技大会

日差しの中で、昭和五十一年度青少年を守る球技大会が開かれました。

この大会は、本町の青少年健全育成に欠くことのできる行事の一つであり、防犯はもとより、児童生徒が互いに親善を図り、仲良くしていただき、新学期に備えて元氣な身体



をつくっていただくことと開かれたもので、町内各校から小学校十一チーム、中学校(男女)十六チームが参加、選手たちは地区の名誉と母校の名誉にかけて、日頃練習の力を十分に発揮し、応援に駆け付けた父兄の熱ももって、夏休みの行事にふ

町青年、婦人会

町青年、婦人連絡協議会では、去る八月十二日三股中学校運動場に会員五百名が参加し、合同体育まつりを開催しました。

この体育まつりは、仲間をふやし、青年、婦人活動の輪を広げ、明るく楽しい会員を育て、各種団体との連絡を密にし常に手を取り合い、明るい住みよい町づくりが目的であり

ます。昨年度は婦人部だけの体育まつりでありましたが本年は次代になっていく若き青年も参加して、各地区公民館

体育まつりで友情を深める

単位で競技がおこなわれました。プログラムも役員の方々が色々と工夫された団体競技やレクリエーションなどが取り入れられ、炎天下の中ではあが、暑さにめげず日が有意義なうら



久しぶりの競技に大歓声

話ですが、これを正しく、能率よく使用していただくためのコツを、ひらいてみました。

一、電話番号は必ずメモし、かける前に番号を確認しましょう。二、ダイヤルは途中で休まず、正しくまわしましょう。三、相手と話し中のときは、二分三十分待つてからかけなおしましょう。

四、ダイヤルのあとの無音(五秒〜十五秒)は故障ではありませぬ。そのまましばらくお待ちください。

五、電話をかけて、相手が出ないときも、呼出音を十回ぐらひ聞きまして待ちましょう。

※電話利用の案内は、テレホンサービス都城0986-123-1000(無料)を利用しませう。

全国大会出場

去る七月二十五日、宮崎県総合運動公園陸上競技場で行われた、第二十二回全日本中学生通信陸上競技大会に於いて、我が三股中の選手は善戦健闘し男子三名(一年山元耕二君、大久保良二君、二年山内武君) 女子一名(三年福沢恭子さん)の入賞を果しました。

特に二年男子の部一、五〇〇米では山内武君が四分二十九秒五で標準記録を突破する好記録で優勝し、県でただ一人全国大会出場権を得ました。



全国大会に出場した山内君

上競技連盟、全国中学校体育連盟の主催で行われ、三股中の山内君が一、五〇〇米に出場、全国の強豪を相手によく健闘し入賞は逸しましたが、今後の陸上界において一層の活躍が期待される。

手権大会は八月十四日、十五日、東京の国立競技場で日本陸

「創業六十周年を迎える

郵便局の簡易保険

(十月は簡易保険月間)

簡易保険は、大正五年十月一日から、無診査、月掛、集金を特徴

とした国営の生命保険として創設され、全国の郵便局でその取扱



が開始されました。以来六十年郵便局の簡易保険として、広く皆様に愛され、親しまれ利用された結果、現在総加入件数五千万件、契約高は二十八兆円、資金総額は七兆円を超えております。この簡保資金は、加入者の大切な財産として市町村などの地方公共団体をはじめ、公社、公庫、公や道路、学校、交通機関など皆様の生活に結びついた身近な生活環境の整備拡充に役立っています。当三股町には、五十年度中公営住宅今市団地建設事業に三千二百六十万円、道路、下水整備事業等に一千九十万円(計四千三百五十万円)が融資され、現在までに融資額の累計は四億百万円にのぼっています。

このほか、簡易保険では、加入者ホーム、保養センター、診療所などの福祉施設を全国各地に設置し、加入者の福祉の増進にも努めています。また、創業記念日にちなんで、毎年十月を「簡易保険月間」と名

付けておりますが、今年には創業六十周年を記念して、全国的にPR活動と新加入運動を展開し、簡易保険に対する皆様の理解と信頼を一層深めるとともに、まだ簡易保険に加入されていない方々にも積極的に呼びかけ、保障のある生活が送れ、安心して働けるようお勧めしております。この機会に、ぜひ郵便局の簡易保険に加入されますようお願いいたします。

愛のこ寄付

三股町社会福祉協議会では、忌明け寄付を次の通り頂きました。故人の冥福をお祈り致しますと共に社会福祉進展のために有意義に利用させて頂きます。

昭和五十一年(七月二十八日から八月二十七日まで)

忌明け寄付 納入者	故人名	部落	金額
前畑邦明	前畑サエ	東京	二万円
山田セツ	山田 愿	梶山	五万円
堂脇キク	堂脇政利	轟木	三万円
南直義	南 モイ	田上	一万円
原田シゲ	原田国吉	上米	一万円

納 税

固定資産税
9月 2 期

三股町の人口

昭和51年8月1日現在

男 7,561人 出生27人
女 8,531人 死亡4人
計16,092人
世帯数 4,819戸